

平成17年7月3日

2号機高圧注水系弁接続部の点検結果について

平成17年6月28日より原子炉起動中の2号機において、6月30日、高圧注水系ポンプ*の確認試験を実施していたところ、ポンプ駆動用タービンに蒸気を供給する配管にある蒸気止め弁と蒸気加減弁の接続部付近から微少な蒸気漏えいの可能性があることを確認しました。そのため、当該ポンプを停止し、調査を行ったところ、当該接続部からの漏えいを確認したため、当該接続部の増し締めを行い、再度確認試験を実施しました。その結果、当該ポンプの機能に問題はないものの状況に変化がないことから、当該接続部の部品（パッキン）を取り替え、健全性の確認を行います。

なお、本事象による外部への放射能の影響はありません。

(平成17年6月30日お知らせ済み)

点検の結果、パッキンの一部に損傷が認められたことから、当該パッキンを取り替えました。その後、7月3日午前10時6分に高圧注水系ポンプを起動し確認試験を実施した結果、午前10時28分に当該接続部からの蒸気漏えいが無いことを確認いたしました。

今後、起動操作を進めてまいります。

漏えいの原因は、パッキンを取扱う際に生じた傷やゴミの混入等により、パッキンの一部に損傷が生じたためであると推定いたしました。今後、パッキンを取扱う際には、パッキン本体と取付け部に異常の無いことの確認を再徹底いたします。

以上

* 高圧注水系ポンプ

非常用炉心冷却系の一つで配管等の破断が比較的小さく、原子炉圧力が急激には下がらないような事故時、蒸気タービン駆動の高圧ポンプで原子炉に冷却水を注入することのできる系統。